

2. 実践研究のねらい

中高一貫校（併設型）として知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を身に付け、ふるさとに誇りと愛着をもち、人とつながりながら地域の課題解決に挑戦し続ける人を育てたい。前期（中学校）の3年間は地域を知るインプットの期間とし、後期（高等学校）の3年間は地域貢献活動を行うアウトプットの期間とする。前期は、学校の教育課程ではできない学びの場をコミュニティ・スクールで提供し、「地域の方々から学び、地域を知る」ことに重点を置き、地域の課題の存在を生徒自身の身近な問題として感じさせることをねらいとする。後期は、地域共育コミュニティとの連携により、地域でのボランティア活動を充実させるとともに、橋本市の協力を得て地域の課題を解決する学習活動を行い、社会に発信できる行動力の育成をねらいとする。6年間を通して、ふるさとを愛する地域の担い手としての役割を果たせる人を育成する。

なお、教育委員会の県立学校教育課長、義務教育課長等が『中高一貫学校地域連携推進委員会』に加わり、学校に対する適切な指導・助言を行うほか、研究成果を他の4県立中高一貫校（併設型）を含め、広く県内の学校に普及させる。